

関係団体等意向調査の実施概要について

1 調査の目的

計画策定に向けた検討材料を得ることを目的に、介護に関係する団体や専門家の方等を対象に、アンケート調査やヒアリング調査を実施します。

2 調査対象団体（予定）

- (1) 芦屋市医師会・芦屋市歯科医師会・芦屋市薬剤師会
- (2) 医療機関（芦屋病院・芦屋セントマリア病院・南芦屋浜病院）
- (3) 芦屋市高齢者生活支援センター
- (4) 芦屋市ケアマネジャー友の会
- (5) 市内の居宅介護支援事業所
- (6) 芦屋市介護サービス事業者連絡会（※）部会単位で調査票を送付
- (7) 認知症関係団体
- (8) 認知症疾患医療センター（兵庫医科大学病院）
- (9) 芦屋PTOTST連絡会

3 実施時期（予定）

- (1) 紙によるアンケート調査 : 令和5年6月または7月～
- (2) ヒアリング調査（5団体程度）: 令和5年8月または9月～

4 調査内容

- (1) 医療・介護連携をはじめとした多機関連携
- (2) 認知症の方への支援
- (3) 高齢者の権利擁護
- (4) 介護サービス
- (5) 介護人材の確保 等

関係団体への意向調査 質問項目一覧

【項目比較】「前回R2」: 前回(令和2年度)にも実施した質問
「新規」: 今回(令和5年度)新規で実施する質問

番号	項目比較	分類	設問	回答欄	居宅介護支援事業所	高齢者生活支援センター	サービス事業者連絡会	市内3病院	3師会
1	前回R2	圏域	事業所の所在する日常生活圏域の地区名をお答えください(1つに○)。	1 西山手 2 東山手 3 精道 4 潮見	●	—	—	—	—
2	前回R2	地域包括支援センター業務支援	地域包括支援センターの業務の中で、以下に掲げる業務のうち、質的(量的)に負担を感じるものは、どのような内容の業務ですか。該当する業務内容について具体的に記載してください。	以下の項目ごとに自由記述 ① 総合相談業務について ② 介護予防ケアマネジメント業務について ③ 権利擁護業務について ④ 包括的・継続的ケアマネジメント業務について ⑤ その他()	—	●	—	—	—
3	前回R2 一部修正	医療・介護連携をはじめとした多機関連携	地域の診療所や高齢者生活支援センターなど、他の医療・福祉機関との連携について、どのように思いますか。 付問1「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まま連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。 付問2「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。	以下の項目ごとに回答 (1)診療所(他医療機関) (2)高齢者生活支援センター(地域包括支援センター) (3)居宅介護支援事業所(ケアマネジャー) (4)介護サービス事業所 (5)行政 (6)歯科 (7)薬局 (8)社会福祉協議会 (9)民生委員・児童委員、福祉推進委員 (10)その他() ※次の項目から選択 1 十分に連携できていると思う 2 まま連携できていると思う 3 あまり連携できていないと思う 4 連携が不十分だと思う	●	●	●	●	●
4	前回R2	地域ケア会議	在宅や施設における「看取り」について、①現在の課題や②今後、必要と思われる支援体制について、ご意見をお聞かせください。	以下の項目ごとに自由記述 ①現在の課題 ②今後、必要と思われる支援体制	●	●	●	●	●
5	新規	地域ケア会議	地域ケア会議について、どのようにすれば開催や参加がしやすくなると思いますか。	どのようにすれば開催や参加がしやすくなると思うか(自由記述)	●	●	—	—	—
6	前回R2 一部修正	地域支援事業	芦屋市が実施している以下の事業について、それぞれの立場での関りの事例、課題や要望、期待することなどがあれば、お聞かせください。	以下の関わりのある項目についてのみ、選択式または自由記述 ① ひとり役活動推進事業(平成29年4月開始) 介護保険施設等や高齢者の居宅においてボランティア活動を行った場合に、活動実績に応じたポイントが付与され、たまったポイントを換金(年間上限5,000円)することができる。 ② 介護予防・通いの場づくり補助事業(平成29年4月開始) 芦屋市内で継続的な通いの場(住民どうしがより身近に、気軽に集まれる地域の居場所)を提供できる団体又は個人に運営に係る費用を助成する。 ③ 生活支援体制整備事業 生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)を配置し、地域資源・ニーズの把握・集約、地域資源の状況の見える化、地域資源の開発等を行う。 ④ 介護サービス相談員派遣事業 介護相談員が施設を訪問し、利用者の不安や疑問等を聞き、事業所や行政へつなぎ、問題の改善・解決に向けて手助けをする。 ※施設部会のみ →利用有無 →利用の成果/非利用理由 ⑤ 認知症サポーター養成等事業 認知症高齢者に関する知識のあるボランティア等の人材育成や認知症サポーターの養成等を行う	●	●	●	●	●
7	前回R2	認知症の方への支援	認知症の方へのケアや支援にあたり、貴団体にとって連携強化が必要な機関等について、以下から優先度の高いと思われる3つまでの番号を選び、それぞれについて、取り組めること(既に取り組んでいること)、今後、必要な取り組みについて、ご記入ください。	【関係機関】3つまで選択して、それぞれ【取り組めること(既に取り組んでいること)、今後、必要な取り組み】自由記述 1 地域住民(団体なども含む) 2 介護サービス事業者 3 医療機関 4 行政 5 認知症地域支援推進員 6 高齢者生活支援センター 7 居宅介護支援事業所 8 商業施設等	●	●	●	●	●
8	前回R2 一部修正	認知症の方への支援	認知症施策推進大綱では、認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し認知症の当事者本人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進することが基本的な考え方とされていますが、事業の推進にあたって重要と思われるものを次の項目から優先順位が高いと思われる順に5つ選択してください。	1 認知症サポーター養成の推進 2 認知症相談窓口の周知 3 認知症の本人からの発信支援 4 認知症予防に資する可能性のある活動の推進 5 予防に関するエビデンスの収集の推進 6 早期発見・早期対応、医療体制の整備 7 医療・介護の手法の普及 8 認知症の人の介護者の負担軽減の推進 9 成年後見制度の利用促進 10 認知症に関わる様々な民間保険の推進 11 若年性認知症に対する支援	●	●	●	●	●
9	前回R2	認知症に関する理解の向上を図るため、どのような取り組みが必要だと思いますか。	自由記述	自由記述	●	●	●	●	●

番号	項目比較	分類	設問	回答欄	居宅介護支援事業所	高齢者生活支援センター	サービス事業者連絡会	市内3病院	3師会
10	新規	高齢者の権利擁護	貴事業所において、利用者の意志の尊重や事業所内での虐待防止等の観点から、利用者の人権を守るために講じている取り組みについて選択してください。	1. 認知症、高齢者虐待防止等に関する研修の実施や外部研修への参加 2. トラブルが発生した場合、利用者及び家族が最初に連絡できる職員の明確化 3. 虐待防止等に関する事業所全体の方針の設定や管理者の責任の明確化 4. 虐待防止委員会や相談窓口等の設置及び担当者の決定 5. 苦情対応等の対応状況に関する点検評価を外部から受ける仕組みの導入 6. その他()	●	—	●	—	—
11	前回R2	在宅生活継続のための支援	要介護者の在宅生活を支えるために必要な地域での支援は、どのような支援だと思いますか。 次の項目から優先順位が高いと思われる順に3つ選択してください。	1. 24時間対応の相談体制 2. 介護者同士の家族の会 3. 緊急時の支援体制 4. いつでも誰かと話ができる場所 5. 気軽に声をかけてくれる人 6. 少し困った時に手伝ってくれる人 7. 有償でサービスを提供してくれる団体 8. その他()	●	—	—	—	—
12	前回R2一部修正		要介護者が在宅生活を継続するにあたり、どのような資源（【フォーマルな資源】、【インフォーマルな資源】）が不足していると思いますか。次の項目から選択してください。	【フォーマルな資源】 1. レスバイトができるところ 2. ショートステイ 3. 24時間体制の見守り 4. 24時間対応で往診可能な医療機関 5. 24時間対応の訪問看護 6. 24時間対応の薬局 7. 専門的な対応が可能な訪問看護ステーション 8. 医療的ケアが可能な訪問介護、通所・宿泊施設 9. その他() 【インフォーマルな資源】 1. ペットの世話 2. 電球交換等の簡易なサポート 3. 買い物の支援 5. 庭の雑草取り 4. 安否確認等の声掛け 6. その他()	●	—	—	—	—
13	前回R2一部修正		要支援者、事業対象者が在宅生活を継続するにあたり、どのような資源（【フォーマルな資源】、【インフォーマルな資源】）が不足していると思いますか。次の項目から選択してください。	【フォーマルな資源】 1. レスバイトができるところ 2. ショートステイ 3. 24時間体制の見守り 4. 24時間対応で往診可能な医療機関 5. 24時間対応の訪問介護 6. 24時間対応の薬局 7. 専門的な対応が可能なヘルパーステーション 8. 怪我・病気時の訪問看護、通所・宿泊施設 9. その他() 【インフォーマルな資源】 1. ペットの世話 2. 電球交換等の簡易なサポート 3. 買い物の支援 5. 庭の雑草取り 4. 安否確認等の声掛け 6. その他()	●	●	—	—	—
14	新規	感染症や災害時の対策	今般の新型コロナウイルス感染症により、どのような影響がありましたか。今後のアフターコロナ社会を見据えた際の不安や課題、またその対応策などについて、ご記入ください。	自由記述	●	●	●	—	—
15	新規	感染症や災害時の対策	災害対策や感染症対策などで、どのような取り組みをしていますか。次の項目から選択してください。	1. 災害時の事業継承計画（BCP）の策定 2. 避難計画や方針の作成 3. 感染症予防マニュアルの作成 4. 避難訓練の実施 5. 食料品等の備蓄 6. 自治会等の地域組織との連携 7. その他() 8. 特になし	●	●	●	—	—
16	前回R2一部修正	介護サービス	この半年の間で、利用者のサービス調整に際し、サービスをつなげなかった、またはつなぐのが困難だったサービスはありましたか。（あてはまるものすべてに○）	1. 特になし 2. 訪問介護（ホームヘルプサービス） 3. 訪問入浴介護 4. 訪問看護 5. 訪問リハビリテーション 6. 通所介護（デイサービス） 7. 通所リハビリテーション（デイケア） 8. 短期入所生活介護 9. 短期入所療養介護 10. 定期巡回・随時対応サービス 11. 夜間対応型訪問介護 12. 認知症対応型通所介護 13. 小規模多機能型居宅介護 14. 看護小規模多機能型居宅介護	●	●	—	—	—

番号	項目比較	分類	設問	回答欄	居宅介護支援事業所	高齢者生活センター	サービス事業者連絡会	市内3病院	3師会
17	前回R2	介護人材の確保等	貴事業所における職員の過不足状況をご回答ください。また、不足している場合には、その理由をお聞かせください。その他貴事業所において、人材確保のため取り組んでいることがあればお聞かせください。	1 かなり不足している 2 やや不足している 3 ちょうどよい 4 やや多い 5 かなり多い 「1かなり不足している」「2やや不足している」を選んだ理由をお聞かせください。 1 費用面で雇い入れる余裕がない 2 育成・指導面で雇い入れる余裕がない 3 求人を出しても応募がない 4 雇い入れても長続きしない(離職) 5 その他() 【人材確保のため取り組んでいること】 自由記述	●	●	—	—	—
18	前回R2		介護人材の確保にあたり必要と思われるものを、次の項目から選択してください(いくつでも)	1 他産業と遜色ない賃金水準 2 介護分野へ担い手となる元気な高齢者等の参入促進(介護助手など) 3 ボランティアポイントを活用した介護分野での就労活動の推進 4 リーダー的介護職員の育成とチームケアによる実践力の向上 5 介護ロボット・ICT活用推進の加速化 6 業務の効率化・負担軽減及び生産性向上のためのガイドラインの普及 7 悩み相談窓口の設置、若手職員などの交流推進 8 若者層、子育てを終えた層、アクティブシニア層に対する介護職の魅力等の情報発信によるイメージアップ 9 研修費補助など資格取得等への支援強化 10 外国人介護人材の積極的な受け入れと雇用の推進(取り組み) 11 その他()	●	●	—	—	—
19	前回R2		介護支援専門員の業務の中で、どのようなことに負担を感じていますか。次の項目から負担感が高い順に3つ選択してください。	1 利用者や家族に対する業務内容の説明と同意 2 課題分析のための居宅訪問 3 サービス担当者会議の開催・調整 4 ケアプラン原案に対する利用者・家族の同意 5 ケアプランの交付(書類の作成) 6 状況確認のための毎月の居宅訪問・面接 7 主治医や医療機関との連絡調整 8 利用者や事業者の苦情対応 9 要介護認定などの代行申請 10 介護報酬請求事務 11 夜間や休日の相談対応 12 介護支援専門員以外の相談や頼まれごと 13 ケアマネジメントの件数が多い 14 その他()	●	●	—	—	—

番号	項目比較	分類	設 問	回答欄	居宅介護支援事業所	高齢者生活支援センター	サービス事業者連絡会	市内3病院	3師会
20	前回R2 一部修正	市の 施策	高齢者への支援として力を入れて取り組むべきと考える項目はどれですか。 次の項目から優先順位が高いと思われる順に3つ選択してください。	1 高齢者の働く場の確保(就労機会の拡大) 2 世代間交流の場づくり 3 生きがいをもてるような活動機会の拡大 4 ボランティア活動の育成・充実 5 隣近所や地域の助け合い・支え合い活動の推進 6 地域でのリハビリテーション事業の推進 7 介護している家族への支援 8 介護保険施設(特養などの入所施設)や有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅の充実 9 介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実 10 往診や緊急時の対応など医療体制の充実 11 認知症施策の充実 12 建物・道路等を高齢者に配慮したまちづくり 13 災害時の避難誘導體制の充実 14 健康づくり・介護予防の充実 15 移動手段の充実 16 その他() 17 特にない	●	●	●	●	●

第 10 次すこやか長寿プラン 21 策定に向けたアンケート調査

芦屋市居宅介護支援事業所調査（案）

調査ご協力のお願い

本市では、高齢社会における福祉・介護施策をより一層進めていくため、「第 10 次芦屋すこやか長寿プラン 21」の策定に取り組んでおります。高齢者施策においては、高齢化のさらなる進展、現役世代の人口の急速な減少が生じる中、「地域包括ケアシステム」のさらなる深化が求められています。そのため、居宅介護支援事業所を対象にサービスの状況や課題などをお聞きし、計画策定の基礎資料として活用します。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

なお、本調査は記名式でございますが、事業所名、個人名等は公表しません。

また、ご回答の内容はすべて統計的にまとめますので、法人情報や個人情報が特定されることはなく、調査結果は計画策定の目的以外には利用しません。

令和 5 年●月 芦屋市

【ご記入に当たってのお願い】

1. 令和 5 年◆月末の状況をご記入ください。
2. お答えは、あてはまる項目に○をつけてください。なお、「その他」を選択された場合は、（ ）内に具体的な内容を記入してください。
3. ご回答は、令和 5 年●月■日（▼）までに、芦屋市高齢介護課にご提出ください。

〈お問い合わせ先〉

芦屋市 こども福祉部 福祉室 高齢介護課

電話 0797-38-2044

ご回答いただく方のお名前等をお教えいただける場合は、以下にご記入をお願いします。

事業所名		
回答者		
連絡先	電話：	FAX：

〔圏域〕

問1 事業所の所在する日常生活圏域の地区名をお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|--------|--------|-------|-------|
| 1. 西山手 | 2. 東山手 | 3. 精道 | 4. 潮見 |
|--------|--------|-------|-------|

〔医療・介護連携をはじめとした多機関連携〕

問2 地域の診療所や高齢者生活支援センターなど、他の医療・福祉機関との連携について、どのように思いますか。

(1) 診療所（他医療機関）※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(1) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(1) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(2) 高齢者生活支援センター（地域包括支援センター）※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(2) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(2) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(3) 他の居宅介護支援事業所 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(3) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(3) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(4) 介護サービス事業所 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(4) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(4) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(5) 行政 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(5) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

- (5) -2「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

--

(6) 歯科 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

- (6) -1「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

--

- (6) -2「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

--

(7) 薬局 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

- (7) -1「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

--

- (7) -2「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

--

(8) 社会福祉協議会 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(8) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(8) -2 で「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(9) 民生委員・福祉推進委員 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(9) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(9) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(10) その他の連携先（ご記入ください： _____）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(10) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

② 認知症サポーター養成等事業

認知症高齢者に関する知識のあるボランティア等の人材育成や認知症サポーターの養成等を行う。

【課題や要望、期待すること】

〔認知症の方への支援〕

問6 認知症の方へのケアや支援にあたり、貴団体にとって連携強化が必要な機関等について、以下から優先度の高いと思われる3つまでの番号を選び、それぞれについて、取り組めること（既に取り組んでいること）、今後、必要な取り組みについて、ご記入ください。

■ 以下の中から3つまで選び、下の枠内に番号をご記入ください。

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| [1] 地域住民（団体なども含む） | [2] 介護サービス事業者 |
| [3] 医療機関 | [4] 行政 |
| [5] 認知症地域支援推進員 | [6] 高齢者生活支援センター（地域包括ケアセンター） |
| [7] 居宅介護支援事業所 | [8] 商業施設等 |

■ 回答欄

【番号】	【取り組めること（既に取り組んでいること）、今後、必要な取り組み】

問7 認知症施策推進大綱では、認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し認知症の当事者本人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進することが基本的な考え方とされていますが、事業の推進にあたって重要と思われるものを次の項目から優先順位が高いと思われる順に5つ選択し、下の枠内に番号をご記入ください。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| [1] 認知症サポーター養成の推進 | [2] 認知症相談窓口の周知 |
| [3] 認知症の本人からの発信支援 | [4] 認知症予防に資する可能性のある活動の推進 |
| [5] 予防に関するエビデンスの収集の推進 | [6] 早期発見・早期対応、医療体制の整備 |
| [7] 医療・介護の手法の普及 | [8] 認知症の人の介護者の負担軽減の推進 |
| [9] 成年後見制度の利用促進 | [10] 認知症に関する様々な民間保険の推進 |
| [11] 若年性認知症に対する支援 | |

【優先順位が高いものから順に、上記の番号をご記入ください】

1位	2位	3位	4位	5位

問8 認知症に関する理解の向上を図るため、どのような取り組みが必要だと思いますか。

〔高齢者の権利擁護〕

問9 貴事業所において、利用者の意志の尊重や事業所内での虐待防止等の観点から、利用者の人権を守るために講じている取り組みについて選択してください。(あてはまるものすべてに○)

1. 認知症、高齢者虐待防止等に関する研修の実施や外部研修への参加

2. トラブルが発生した場合、利用者及び家族が最初に連絡できる職員の明確化

3. 虐待防止等に関する事業所全体の方針の設定や管理者の責任の明確化

4. 虐待防止委員会や相談窓口等の設置及び担当者の決定

5. 苦情対応等の対応状況に関する点検評価を外部から受ける仕組みの導入

6. その他 ()

〔在宅生活継続のための支援〕

問10 要介護者の在宅生活を支えるために必要な地域での支援は、どのような支援だと思いますか。
次の項目から優先順位が高いと思われる順に3つ選択し、下の枠内に番号をご記入ください。

[1] 24 時間対応の相談体制	[2] 介護者同士の家族の会
[3] 緊急時の支援体制	[4] いつでも誰かと話ができる場所
[5] 気軽に声をかけてくれる人	[6] 少し困った時に手伝ってくれる人
[7] 有償でサービスを提供してくれる団体	[8] その他 ()

【優先順位が高いものから順に、上記の番号をご記入ください】

1 位	2 位	3 位

問11 要介護者が在宅生活を継続するにあたり、どのような資源（【フォーマルな資源】、【インフォーマルな資源】）が不足していると思いますか。次の項目から選択してください（いくつでも）。

【フォーマルな資源】

1. レスパイトができるところ	2. ショートステイ
3. 24 時間体制の見守り	4. 24 時間対応で往診可能な医療機関
5. 24 時間対応の訪問看護	6. 24 時間対応の薬局
7. 専門的な対応が可能な訪問看護ステーション	8. 医療的ケアが可能な訪問介護、通所・宿泊施設
9. その他 ()	

【インフォーマルな資源】

1. ペットの世話	2. 電球交換等の簡易なサポート
3. 買い物の支援	4. 安否確認等の声掛け
5. 庭の雑草取り	
6. その他 ()	

問 12 要支援者、事業対象者が在宅生活を継続するにあたり、どのような資源が不足していると思いますか。次の項目から選択してください。（いくつでも）

【フォーマルな資源】	
1. レスパイトができるところ	2. ショートステイ
3. 24時間体制の見守り	4. 24時間対応で往診可能な医療機関
5. 24時間対応の訪問介護	6. 24時間対応の薬局
7. 専門的な対応が可能なヘルパーステーション	8. 怪我・病気時の訪問看護、通所・宿泊施設
9. その他（ ）	
【インフォーマルな資源】	
1. ペットの世話	2. 電球交換等の簡易なサポート
3. 買い物の支援	4. 安否確認等の声掛け
5. 庭の雑草取り	6. その他（ ）

〔感染症や災害時の対策〕

問 13 今般の新型コロナウイルス感染症により、どのような影響がありましたか。今後のアフターコロナ社会を見据えた際の不安や課題、またその対応策などについて、ご記入ください。

問 14 災害対策（感染症対策を含む）などで、どのような取り組みをしていますか。次の項目から選択してください（いくつでも）

1. 災害時の事業継承計画（BCP）の策定	2. 避難計画や方針の作成
3. 感染症予防マニュアルの作成	4. 避難訓練の実施
5. 食料品等の備蓄	6. 自治会等の地域組織との連携
7. その他（ ）	8. 特にない

〔介護サービス〕

問 12 この半年の間で、利用者のサービス調整に際し、サービスをつなげなかった、またはつなぐのが困難だったサービスはありましたか。（あてはまるものすべてに○）
※いずれも介護予防サービス、総合事業のサービス、地域密着型サービスを含む。

[1] 訪問介護（ホームヘルプサービス）	[2] 訪問入浴介護
[3] 訪問看護	[4] 訪問リハビリテーション
[5] 通所介護（デイサービス）	[6] 通所リハビリテーション（デイケア）
[7] 短期入所生活介護	[8] 短期入所療養介護
[9] 定期巡回・随時対応サービス	[10] 夜間対応型訪問介護
[11] 認知症対応型通所介護	[12] 小規模多機能型居宅介護
[13] 看護小規模多機能型居宅介護	[14] 特につなぎづらい在宅サービスは無かった

〔介護人材の確保等〕

問 16 貴事業所における職員の過不足状況について、次の項目から選択してください。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. かなり不足している | 2. やや不足している |
| 3. ちょうどよい | 4. やや多い |
| 5. かなり多い | |

問 16-1 「1. かなり不足している、2. やや不足している」を選んだ理由をお聞かせください（いくつでも）。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 費用面で雇い入れる余裕がない | 2. 育成・指導面で雇い入れる余裕がない |
| 3. 求人を出しても応募がない | 4. 雇い入れても長続きしない（離職） |
| 5. その他（ | ） |

問 16-2 貴事業所で、人材の確保のために取り組んでいることがあればお聞かせください。

--

問 17 介護人材の確保にあたり必要と思われるものを、次の項目から選択してください（いくつでも）。

- | |
|---|
| 1. 他産業と遜色ない賃金水準 |
| 2. 介護分野へ担い手となる元気な高齢者等の参入促進（介護助手など） |
| 3. ボランティアポイントを活用した介護分野での就労的活動の推進 |
| 4. リーダー的介護職員の育成とチームケアによる実践力の向上 |
| 5. 介護ロボット・ICT 活用推進の加速化 |
| 6. 業務の効率化・負担軽減及び生産性向上のためのガイドラインの普及 |
| 7. 悩み相談窓口の設置、若手職員などの交流推進 |
| 8. 若者層、子育てを終えた層、アクティブシニア層に対する介護職の魅力等の情報発信によるイメージアップ |
| 9. 研修費補助など資格取得等への支援強化 |
| 10. 外国人介護人材の積極的な受け入れと雇用の推進（取り組み） |
| 11. その他（ |
| ） |

問 18 介護支援専門員の業務の中で、どのようなことに負担を感じていますか。次の項目から負担感が高い順に3つ選択し、下の枠内に番号をご記入ください。

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| [1] 利用者や家族に対する業務内容の説明と同意 | [2] 課題分析のための居宅訪問 |
| [3] サービス担当者会議の開催・調整 | [4] ケアプラン原案に対する利用者・家族の同意 |
| [5] ケアプランの交付（書類の作成） | [6] 状況確認のための毎月の居宅訪問・面接 |
| [7] 主治医や医療機関との連絡調整 | [8] 利用者や事業者の苦情対応 |
| [9] 要介護認定などの代行申請 | [10] 介護報酬請求事務 |
| [11] 夜間や休日の相談対応 | [12] 介護支援専門員以外の相談や頼まれごと |
| [13] ケアマネジメントの件数が多い | [14] その他（ |
| | ） |

【負担感が高いものから順に、上記の番号をご記入ください】

1 位	2 位	3 位

〔市の施策〕

問 19 高齢者への支援として力を入れて取り組むべきと考える項目はどれですか。次の項目から優先順位が高いと思われる順に3つ選択し、下の枠内に番号をご記入ください。

[1] 高齢者の働く場の確保（就労機会の拡大）
[2] 世代間交流の場づくり
[3] 生きがいをもてるような活動機会の拡大
[4] ボランティア活動の育成・充実
[5] 隣近所や地域の助け合い・支え合い活動の推進
[6] 地域でのリハビリテーション事業の推進
[7] 介護している家族への支援
[8] 介護保険施設（特養などの入所施設）や有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅の充実
[9] 介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実
[10] 往診や緊急時の対応など医療体制の充実
[11] 認知症施策の充実
[12] 建物・道路等を高齢者に配慮したまちづくり
[13] 災害時の避難誘導體制の充実
[14] 健康づくり・介護予防の充実
[15] 移動手段の充実
[16] その他（ ）
[17] 特にない

【優先順位が高いものから順に、上記の番号をご記入ください】

1 位	2 位	3 位

ご協力ありがとうございました。

第10次すこやか長寿プラン21 策定に向けたアンケート調査

芦屋市高齢者生活支援センター調査（案）

調査ご協力のお願い

本市では、高齢社会における福祉・介護施策をより一層進めていくため、「第10次芦屋すこやか長寿プラン21」の策定に取り組んでおります。高齢者施策においては、高齢化のさらなる進展、現役世代の人口の急速な減少が生じる中、「地域包括ケアシステム」のさらなる深化が求められています。そのため、高齢者生活支援センターを対象にサービスの状況や課題などをお聞きし、計画策定の基礎資料として活用します。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

なお、本調査は記名式でございますが、個人名等は公表しません。また、調査結果は計画策定の目的以外には利用しません。

令和5年●月 芦屋市

※ご回答は、令和5年●月■日（▼）までに、芦屋市高齢介護課にご提出ください。

〈お問い合わせ先〉

芦屋市 こども福祉部 福祉室 高齢介護課

電話 0797-38-2044

ご回答いただく方のお名前等をお教えいただける場合は、以下にご記入をお願いします。

センター名		
回答者		
連絡先	電話：	FAX：

〔地域包括支援センター業務〕

問1 地域包括支援センターの業務の中で、以下に掲げる業務のうち、質的（量的）に負担を感じるのは、どのような内容の業務ですか。該当する業務内容について具体的に記載してください。

①総合相談業務について

--

②介護予防ケアマネジメント業務について

--

③権利擁護業務について

--

④包括的・継続的ケアマネジメント業務について

--

⑤その他

--

〔医療・介護連携をはじめとした多機関連携〕

問2 地域の診療所や居宅介護支援事業所など、他の医療・福祉機関との連携について、どのように思いますか。

(1) 診療所（他医療機関）※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(1) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(1) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(2) 他の高齢者生活支援センター（地域包括支援センター）※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(2) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(2) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(3) 居宅介護支援事業所 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

- (3) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

- (3) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(4) 介護サービス事業所 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

- (4) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

- (4) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(5) 行政 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

- (5) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

- (5) -2「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

--

(6) 歯科 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

- (6) -1「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

--

- (6) -2「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

--

(7) 薬局 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

- (7) -1「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

--

- (7) -2「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

--

(8) 社会福祉協議会 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(8) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(8) -2 で「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(9) 民生委員・児童委員、福祉推進委員 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(9) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(9) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(10) その他の連携先（ご記入ください： _____ ）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(10) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

- (10) -2「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

--

- 問3 在宅や施設における「看取り」について、①現在の課題や②今後、必要と思われる支援体制について、ご意見をお聞かせください。

【①現在の課題】
【②今後、必要と思われる支援体制】

〔地域ケア会議〕

- 問4 介護予防のための地域ケア個別会議について、どのようにすれば開催や参加がしやすくなると思いますか。

【①どのようにすれば開催や参加がしやすくなると思うか】

〔地域支援事業〕

- 問5 芦屋市が実施している以下の事業について、お尋ねします。

① ひとり一役活動推進事業

介護保険施設等や高齢者の居宅においてボランティア活動を行った場合に、活動実績に応じたポイントが付与され、たまったポイントを換金（年間上限5,000円）することができる。

■ボランティアに期待する役割について、次の項目から選択してください。（いくつでも可）

1. ゴミ出し	2. 話し相手	3. 趣味の相手
4. その他（	）	

② 介護予防・通いの場づくり補助事業

芦屋市内で継続的な通いの場（住民どうしがより身近に、気軽に集まれる地域の居場所）を提供できる団体又は個人に運営に係る費用を助成する。

【課題や要望、期待すること】

③ 生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を配置し、地域資源・ニーズの把握・集約、地域資源の状況の見える化、地域資源の開発等を行う。

【課題や要望、期待すること】

④ 認知症サポーター養成等事業

認知症高齢者に関する知識のあるボランティア等の人材育成や認知症サポーターの養成等を行う。

【課題や要望、期待すること】

〔認知症の方への支援〕

問6 認知症の方へのケアや支援にあたり、貴団体にとって連携強化が必要な機関等について、以下から優先度の高いと思われる3つまでの番号を選び、それぞれについて、取り組めること（既に取り組んでいること）、今後、必要な取り組みについて、ご記入ください。

■以下の中から3つまで選び、下の枠内に番号をご記入ください。

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| [1] 地域住民（団体なども含む） | [2] 介護サービス事業者 |
| [3] 医療機関 | [4] 行政 |
| [5] 認知症地域支援推進員 | [6] 高齢者生活支援センター（地域包括ケアセンター） |
| [7] 居宅介護支援事業所 | [8] 商業施設等 |

■回答欄

【番号】	【取り組めること（既に取り組んでいること）、今後、必要な取り組み】

問7 認知症施策推進大綱では、認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し認知症の当事者本人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進することが基本的な考え方とされていますが、事業の推進にあたって重要と思われるものを次の項目から優先順位が高いと思われる順に5つ選択し、下の枠内に番号をご記入ください。

[1] 認知症サポーター養成の推進	[2] 認知症相談窓口の周知
[3] 認知症の人本人からの発信支援	[4] 認知症予防に資する可能性のある活動の推進
[5] 予防に関するエビデンスの収集の推進	[6] 早期発見・早期対応、医療体制の整備
[7] 医療・介護の手法の普及	[8] 認知症の人の介護者の負担軽減の推進
[9] 成年後見制度の利用促進	[10] 認知症に関する様々な民間保険の推進
[11] 若年性認知症に対する支援	

【優先順位が高いものから順に、上記の番号をご記入ください】

1位	2位	3位	4位	5位

問8 認知症に関する理解の向上を図るため、どのような取り組みが必要だと思いますか。

【在宅生活継続のための支援】

問9 要支援者、事業対象者が在宅生活を継続するにあたり、どのような資源が不足していると思いますか。次の項目から選択してください。（いくつでも）

【フォーマルな資源】

1. レスパイトができる場所	2. ショートステイ
3. 24時間体制の見守り	4. 24時間対応で往診可能な医療機関
5. 24時間対応の訪問介護	6. 24時間対応の薬局
7. 専門的な対応が可能なヘルパーステーション	8. 怪我・病気時の訪問看護、通所・宿泊施設
9. その他 ()	

【インフォーマルな資源】

1. ペットの世話	2. 電球交換等の簡易なサポート
3. 買い物の支援	4. 安否確認等の声掛け
5. 庭の雑草取り	
6. その他 ()	

〔感染症や災害時の対策〕

問 10 今般の新型コロナウイルス感染症により、どのような影響がありましたか。今後のアフターコロナ社会を見据えた際の不安や課題、またその対応策などについて、ご記入ください。

--

問 11 災害対策や感染症対策などで、どのような取り組みをしていますか。

次の項目から選択してください（いくつでも）

1. 災害時の事業継承計画（BCP）の策定	2. 避難計画や方針の作成
3. 感染症予防マニュアルの作成	4. 避難訓練の実施
5. 食料品等の備蓄	6. 自治会等の地域組織との連携
7. その他（ ）	8. 特にない

〔介護サービス〕

問 12 この半年の間で、利用者のサービス調整に際し、サービスをつなげなかった、またはつなぐのが困難だったサービスはありましたか。（あてはまるものすべてに○）

※いずれも介護予防サービス、総合事業のサービス、地域密着型サービスを含む。

1. 特につなぎづらい在宅サービスは無かった	2. 訪問介護（ホームヘルプサービス）
3. 訪問入浴介護	4. 訪問看護
5. 訪問リハビリテーション	6. 通所介護（デイサービス）
7. 通所リハビリテーション（デイケア）	8. 短期入所生活介護
9. 短期入所療養介護	10. 定期巡回・随時対応サービス
11. 夜間対応型訪問介護	12. 認知症対応型通所介護
13. 小規模多機能型居宅介護	14. 看護小規模多機能型居宅介護

〔介護人材の確保等〕

問 13 貴事業所における職員の過不足状況について、次の項目から選択してください。

1. かなり不足している	2. やや不足している
3. ちょうどよい	4. やや多い
5. かなり多い	

問 13-1 「1.かなり不足している、2.やや不足している」を選んだ理由をお聞かせください（いくつでも）。

1. 費用面で雇い入れる余裕がない	2. 育成・指導面で雇い入れる余裕がない
3. 求人を出しても応募がない	4. 雇い入れても長続きしない（離職）
5. その他（ ）	

問 13-2 貴事業所で、人材の確保のために取り組んでいることがあればお聞かせください。

--

第10次すこやか長寿プラン21 策定に向けたアンケート調査 芦屋市介護サービス事業者連絡会調査（案）

調査ご協力をお願い

本市では、高齢社会における福祉・介護施策をより一層進めていくため、「第10次芦屋すこやか長寿プラン21」の策定に取り組んでおります。高齢者施策においては、高齢化のさらなる進展、現役世代の人口の急速な減少が生じる中、「地域包括ケアシステム」のさらなる深化が求められています。そのため、サービス事業者連絡会を対象にサービスの状況や課題などをお聞きし、計画策定の基礎資料として活用します。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

なお、本調査は記名式でございますが、個人名等は公表しません。また、調査結果は、計画策定の目的以外には利用しません。

令和5年●月 芦屋市

【ご記入に当たってのお願い】

1. 令和5年●月末の状況をご記入ください。
2. ご回答は詳細に記入ください。
3. ご回答は、令和5年●月■日（▼）までに、高齢介護課にご提出ください。

〈お問い合わせ先〉

芦屋市 こども福祉部 福祉室 高齢介護課

電話 0797-38-2044

ご回答いただく方のお名前等をお教えいただける場合は、以下にご記入をお願いします。

事業者名		
回答者		
連絡先	電話：	FAX：

〔医療・介護連携をはじめとした多機関連携〕

問1 地域の診療所や高齢者生活支援センターなど、他の医療・福祉機関との連携について、どのように思いますか。

(1) 診療所（他医療機関）※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(1) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(1) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(2) 高齢者生活支援センター（地域包括支援センター）※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(2) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(2) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(3) 居宅介護支援事業所 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

- (3) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

- (3) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(4) 他の介護サービス事業所 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

- (4) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

- (4) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(5) 行政 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

- (5) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

- (5) -2「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

--

(6) 歯科 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

- (6) -1「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

--

- (6) -2「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

--

(7) 薬局 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

- (7) -1「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

--

- (7) -2「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

--

(8) 社会福祉協議会 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(8) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(8) -2 で「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(9) 民生委員・児童委員、福祉推進委員 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(9) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(9) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(10) その他の連携先（ご記入ください： _____）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(10) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

- (10) -2「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

問2 在宅や施設における「看取り」について、①現在の課題や②今後、必要と思われる支援体制について、ご意見をお聞かせください。

【①現在の課題】

【②今後、必要と思われる支援体制】

〔地域支援事業〕

問3 芦屋市が実施している以下の事業について、お尋ねします。

① ひとり役活動推進事業

介護保険施設等や高齢者の居宅においてボランティア活動を行った場合に、活動実績に応じたポイントが付与され、たまったポイントを換金（年間上限5,000円）することができる。

■ボランティアに期待する役割について、次の項目から選択してください。（いくつでも可）

1. 配膳・下げ膳	2. レクリエーションの手伝い	3. 利用者の話し相手
4. 植栽の手入れ	5. 洗濯物の整理	6. その他（ ）

② 介護サービス相談員派遣事業 ※施設部会の方のみにおたずねします。

介護相談員が施設を訪問し、利用者の不安や疑問等を聞き、事業所や行政へつなぎ、問題の改善・解決に向けて手助けをする。

■1) この事業を利用したことがありますか。※施設部会の方のみにおたずねします。

1. ある	2. ない
-------	-------

■2) 「1. ある」を選択した場合は成果や課題をお聞かせください。「2. ない」を選択した場合は、その理由をお聞かせください。

■3) 今後、この事業を利用する意向はありますか。

1. ある

2. ない

3. わからない

③ 認知症サポーター養成等事業

認知症高齢者に関する知識のあるボランティア等の人材育成や認知症サポーターの養成等を行う。

【課題や要望、期待すること】

〔認知症の方への支援〕

問4 認知症の方へのケアや支援にあたり、貴団体にとって連携強化が必要な機関等について、以下から優先度の高いと思われる3つまでの番号を選び、それぞれについて、取り組めること（既に取り組んでいること）、今後、必要な取り組みについて、ご記入ください。

① 以下の中から3つまで選び、下の枠内に番号をご記入ください。

[1] 地域住民（団体なども含む）

[2] 介護サービス事業者

[3] 医療機関

[4] 行政

[5] 認知症地域支援推進員

[6] 高齢者生活支援センター（地域包括ケアセンター）

[7] 居宅介護支援事業所

[8] 商業施設等

② 回答欄

【番号】	【取り組めること（既に取り組んでいること）、今後、必要な取り組み】

問5 認知症施策推進大綱では、認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し認知症の当事者本人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進することが基本的な考え方とされていますが、事業の推進にあたって重要と思われるものを次の項目から優先順位が高いと思われる順に5つ選択し、下の枠内に番号をご記入ください。

[1] 認知症サポーター養成の推進	[2] 認知症相談窓口の周知
[3] 認知症の本人からの発信支援	[4] 認知症予防に資する可能性のある活動の推進
[5] 予防に関するエビデンスの収集の推進	[6] 早期発見・早期対応、医療体制の整備
[7] 医療・介護の手法の普及	[8] 認知症の人の介護者の負担軽減の推進
[9] 成年後見制度の利用促進	[10] 認知症に関する様々な民間保険の推進
[11] 若年性認知症に対する支援	

【優先順位が高いものから順に、上記の番号をご記入ください】

1位	2位	3位	4位	5位

問6 認知症に関する理解の向上を図るため、どのような取り組みが必要だと思いますか。

〔高齢者の権利擁護〕

問7 利用者の権利擁護について、貴事業所で実施しているものに○をしてください（いくつでも）。

1. 認知症、高齢者虐待防止等に関する研修の実施や外部研修への参加
2. トラブルが発生した場合、利用者及び家族が最初に連絡できる職員の明確化
3. 虐待防止等に関する事業所全体の方針の設定や管理者の責任の明確化
4. 虐待防止委員会や相談窓口等の設置及び担当者の決定
5. 苦情対応等の対応状況に関する点検評価を外部から受ける仕組みの導入
6. その他（ ）

〔感染症や災害時の対策〕

問8 今般の新型コロナウイルス感染症により、どのような影響がありましたか。今後のアフターコロナ社会を見据えた際の不安や課題、またその対応策などについて、ご記入ください。

問9 災害対策や感染症対策などで、どのような取り組みをしていますか。

次の項目から選択してください（いくつでも）

1. 災害時の事業継承計画（BCP）の策定	2. 避難計画や方針の作成
3. 感染症予防マニュアルの作成	4. 避難訓練の実施
5. 食料品等の備蓄	6. 自治会等の地域組織との連携
7. その他（	8. 特にない

【市の施策】

問10 高齢者への支援として力を入れて取り組むべきと考える項目はどれですか。次の項目から優先順位が高いと思われる順に3つ選択し、下の枠内に番号をご記入ください。

[1] 高齢者の働く場の確保（就労機会の拡大）
[2] 世代間交流の場づくり
[3] 生きがいをもてるような活動機会の拡大
[4] ボランティア活動の育成・充実
[5] 隣近所や地域の助け合い・支え合い活動の推進
[6] 地域でのリハビリテーション事業の推進
[7] 介護している家族への支援
[8] 介護保険施設（特養などの入所施設）や有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅の充実
[9] 介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実
[10] 往診や緊急時の対応など医療体制の充実
[11] 認知症施策の充実
[12] 建物・道路等を高齢者に配慮したまちづくり
[13] 災害時の避難誘導體制の充実
[14] 健康づくり・介護予防の充実
[15] 移動手段の充実
[16] その他（
[17] 特にない

【優先順位が高いものから順に、上記の番号をご記入ください】

1位	2位	3位

ご協力ありがとうございました。

第10次すこやか長寿プラン21 策定に向けたアンケート調査

芦屋市医師会・芦屋市歯科医師会・芦屋市薬剤師会調査（案）

調査ご協力をお願い

本市では、高齢社会における福祉・介護施策をより一層進めていくため、「第10次芦屋すこやか長寿プラン21」の策定に取り組んでおります。高齢者施策においては、高齢化のさらなる進展、現役世代の人口の急速な減少が生じる中、「地域包括ケアシステム」のさらなる深化が求められています。そのため、今後更に、医療と介護の連携が重要な部分となることから、介護分野との連携状況や在宅医療等の現状や課題などをお聞きし、計画策定の基礎資料として活用します。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

なお、本調査は記名式でございますが、ご回答の内容はすべて統計的にまとめますので、回答者が特定されることはありません。また、調査結果は計画策定の目的以外には利用しません。

令和5年●月 芦屋市

※ご回答は、令和5年●月■日（▼）までに、芦屋市高齢介護課にご提出ください。

〈お問い合わせ先〉

芦屋市 子育て福祉部 福祉室 高齢介護課

電話 0797-38-2044

ご回答いただく方のお名前等をお教えいただける場合は、以下にご記入をお願いします。

機関名		
回答者		
連絡先	電話：	FAX：

〔多機関連携〕

問1 高齢者生活支援センターや行政など、他の関係機関との連携について、どのように思いますか。

(1) 高齢者生活支援センター（地域包括支援センター） ※次の項目から選択してください

1. 十分に連携できていると思う	2. まあまあ連携できていると思う
3. あまり連携できていないと思う	4. 連携が不十分だと思う

(1) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(1) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(2) 居宅介護支援事業所 ※次の項目から選択してください

1. 十分に連携できていると思う	2. まあまあ連携できていると思う
3. あまり連携できていないと思う	4. 連携が不十分だと思う

(2) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(2) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(3) 介護サービス事業所 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(3) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(3) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(4) 行政 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(4) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(4) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(5) 社会福祉協議会 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(5) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

- (5) -2「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

- (6) 民生委員・児童委員、福祉推進委員 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

- (6) -1「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

- (6) -2「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

- (7) その他の連携先（ご記入ください： ） ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

- (7) -1「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

- (7) -2「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

問2 在宅や施設における「看取り」について、①現在の課題や②今後、必要と思われる支援体制について、ご意見をお聞かせください。

【①現在の課題】
【②今後、必要と思われる支援体制】

〔認知症の方への支援〕

問3 認知症の方へのケアや支援にあたり、貴会にとって連携強化が必要な機関等について、以下から優先度の高いと思われる3つまでの番号を選び、それぞれについて、取り組めること（既に取り組んでいること）、今後、必要な取り組みについて、ご記入ください。

■以下の中から3つまで選び、下の枠内に番号をご記入ください。

[1] 地域住民（団体なども含む）	[2] 介護サービス事業者
[3] 医療機関	[4] 行政
[5] 認知症地域支援推進員	[6] 高齢者生活支援センター（地域包括ケアセンター）
[7] 居宅介護支援事業所	[8] 商業施設等

■回答欄

【番号】	【取り組めること（既に取り組んでいること）、今後、必要な取り組み】

問4 認知症施策推進大綱では、認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し認知症の当事者本人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進することが基本的な考え方とされていますが、事業の推進にあたって重要と思われるものを次の項目から優先順位が高いと思われる順に5つ選択し、下の枠内に番号をご記入ください。

[1] 認知症サポーター養成の推進	[2] 認知症相談窓口の周知
[3] 認知症の本人からの発信支援	[4] 認知症予防に資する可能性のある活動の推進
[5] 予防に関するエビデンスの収集の推進	[6] 早期発見・早期対応、医療体制の整備
[7] 医療・介護の手法の普及	[8] 認知症の人の介護者の負担軽減の推進
[9] 成年後見制度の利用促進	[10] 認知症に関する様々な民間保険の推進
[11] 若年性認知症に対する支援	

【優先順位が高いものから順に、上記の番号をご記入ください】

1位	2位	3位	4位	5位

問5 認知症に関する理解の向上を図るため、どのような取り組みが必要だと思いますか。

〔市の施策〕

問6 高齢者への支援として力を入れて取り組むべきと考える項目はどれですか。次の項目から優先順位が高いと思われる順に3つ選択し、下の枠内に番号をご記入ください。

- [1] 高齢者の働く場の確保（就労機会の拡大）
- [2] 世代間交流の場づくり
- [3] 生きがいをもてるような活動機会の拡大
- [4] ボランティア活動の育成・充実
- [5] 隣近所や地域の助け合い・支え合い活動の推進
- [6] 地域でのリハビリテーション事業の推進
- [7] 介護している家族への支援
- [8] 介護保険施設（特養などの入所施設）や有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅の充実
- [9] 介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実
- [10] 往診や緊急時の対応など医療体制の充実
- [11] 認知症施策の充実
- [12] 建物・道路等を高齢者に配慮したまちづくり
- [13] 災害時の避難誘導體制の充実
- [14] 健康づくり・介護予防の充実
- [15] 移動手段の充実
- [16] その他（）
- [17] 特になし

【優先順位が高いものから順に3つ、上記の番号をご記入ください】

1位	2位	3位

ご協力ありがとうございました。

第10次すこやか長寿プラン21 策定に向けたアンケート調査

芦屋市内病院調査（案）

調査ご協力をお願い

本市では、高齢社会における福祉・介護施策をより一層進めていくため、「第10次芦屋すこやか長寿プラン21」の策定に取り組んでおります。高齢者施策においては、高齢化のさらなる進展、現役世代の人口の急速な減少が生じる中、「地域包括ケアシステム」のさらなる深化が求められています。そのため、今後更に、医療と介護の連携が重要な部分となることから、市内の病院を対象に、介護分野との連携状況や在宅医療等の状況や課題などをお聞きし、計画策定の基礎資料として活用します。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

なお、本調査は記名式でございますが、個人名等は公表しません。また、調査結果は計画策定の目的以外には利用しません。

令和5年●月 芦屋市

※ご回答は、令和5年●月■日（▼）までに、芦屋市高齢介護課にご提出ください。

〈お問い合わせ先〉

芦屋市 こども福祉部 福祉室 高齢介護課

電話 0797-38-2044

ご回答いただく方のお名前等をお教えいただける場合は、以下にご記入をお願いします。

病院名		
回答者		
連絡先	電話：	FAX：

〔医療・介護連携をはじめとした多機関連携〕

問1 地域の診療所や高齢者生活支援センターなど、他の医療・福祉機関との連携について、どのように思いますか。

(1) 診療所（他医療機関）※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(1) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(1) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(2) 高齢者生活支援センター（地域包括支援センター）※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(2) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(2) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(3) 居宅介護支援事業所 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

- (3) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

--

- (3) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

--

(4) 介護サービス事業所 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

- (4) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

--

- (4) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

--

(5) 行政 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

- (5) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

--

- (5) -2「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

--

(6) 歯科 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

- (6) -1「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

--

- (6) -2「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

--

(7) 薬局 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

- (7) -1「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

--

- (7) -2「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

--

(8) 社会福祉協議会 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(8) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(8) -2 で「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(9) 民生委員・児童委員、福祉推進委員 ※次の項目から選択してください

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(9) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

(9) -2 「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

(10) その他の連携先（ご記入ください： _____ ）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 十分に連携できていると思う | 2. まあまあ連携できていると思う |
| 3. あまり連携できていないと思う | 4. 連携が不十分だと思う |

(10) -1 「1. 十分に連携できていると思う」、「2. まあまあ連携できていると思う」と回答された方は、連携の内容について以下にご記入ください。

- (10) -2「3. あまり連携できていないと思う」、「4. 連携が不十分だと思う」と回答された方は、その理由について以下にご記入ください。

--

問2 在宅や施設における「看取り」について、①現在の課題や②今後、必要と思われる支援体制について、ご意見をお聞かせください。

【①現在の課題】
【②今後、必要と思われる支援体制】

〔認知症の方への支援〕

問3 認知症の方へのケアや支援にあたり、貴院にとって連携強化が必要な機関等について、以下から優先度の高いと思われる3つまでの番号を選び、それぞれについて、取り組めること（既に取り組んでいること）、今後、必要な取り組みについて、ご記入ください。

■以下の中から3つまで選び、下の枠内に番号をご記入ください。

[1] 地域住民（団体なども含む）	[2] 介護サービス事業者
[3] 医療機関	[4] 行政
[5] 認知症地域支援推進員	[6] 高齢者生活支援センター（地域包括ケアセンター）
[7] 居宅介護支援事業所	[8] 商業施設等

■回答欄

【番号】	【取り組めること（既に取り組んでいること）、今後、必要な取り組み】

問4 認知症施策推進大綱では、認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し認知症の当事者本人や家族の視点を重視しながら「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進することが基本的な考え方とされていますが、事業の推進にあたって重要と思われるものを次の項目から優先順位が高いと思われる順に5つ選択し、下の枠内に番号をご記入ください。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| [1] 認知症サポーター養成の推進 | [2] 認知症相談窓口の周知 |
| [3] 認知症の人本人からの発信支援 | [4] 認知症予防に資する可能性のある活動の推進 |
| [5] 予防に関するエビデンスの収集の推進 | [6] 早期発見・早期対応、医療体制の整備 |
| [7] 医療・介護の手法の普及 | [8] 認知症の人の介護者の負担軽減の推進 |
| [9] 成年後見制度の利用促進 | [10] 認知症に関する様々な民間保険の推進 |
| [11] 若年性認知症に対する支援 | |

【優先順位が高いものから順に、上記の番号をご記入ください】

1位	2位	3位	4位	5位

問5 認知症に関する理解の向上を図るため、どのような取り組みが必要だと思いますか。

【市の施策】

問6 高齢者への支援として力を入れて取り組むべきと考える項目はどれですか。次の項目から優先順位が高いと思われる順に3つ選択し、下の枠内に番号をご記入ください。

- | |
|--|
| [1] 高齢者の働く場の確保（就労機会の拡大） |
| [2] 世代間交流の場づくり |
| [3] 生きがいをもてるような活動機会の拡大 |
| [4] ボランティア活動の育成・充実 |
| [5] 隣近所や地域の助け合い・支え合い活動の推進 |
| [6] 地域でのリハビリテーション事業の推進 |
| [7] 介護している家族への支援 |
| [8] 介護保険施設（特養などの入所施設）や有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅の充実 |
| [9] 介護保険以外の在宅生活を支援する福祉サービスの充実 |
| [10] 往診や緊急時の対応など医療体制の充実 |
| [11] 認知症施策の充実 |
| [12] 建物・道路等を高齢者に配慮したまちづくり |
| [13] 災害時の避難誘導體制の充実 |
| [14] 健康づくり・介護予防の充実 |
| [15] 移動手段の充実 |
| [16] その他（) |
| [17] 特にない |

【優先順位が高いものから順に、上記の番号をご記入ください】

1位	2位	3位

ご協力ありがとうございました。